

カッシーナ・イクスシー福岡店 特別展示
【Monohanako - 中里花子展 灯りと器とダイニングー】開催



株式会社カッシーナ・イクスシー（本社：東京都港区、代表取締役社長：森 康洋）は、2017年9月7日（木）より、カッシーナ・イクスシー福岡店において【Monohanako - 中里花子展 灯りと器とダイニングー】を開催いたします。

唐津とアメリカで創作活動を行う陶芸家・中里花子氏。カッシーナ・イクスシーのダイニングテーブルに合わせた作品を約700点新たに作陶していただきました。一つの使い方にこだわらず、その時々で器の使い方を工夫することにより日常を豊かに彩る方法を、3種類のダイニングシーンと、秋の食卓を優しく照らす灯りと合わせてご紹介いたします。

今回、展覧会に合わせてご用意する照明の中で、カナダの新進気鋭の照明メーカー BOCCI 社が今年4月EUROLUCEで発表し注目を浴びていた、銅製メッシュを使用した吹きガラスの84シリーズは、国内初展示となります。ミラノのフィエラ会場では圧倒的なインсталレーションで人々を魅了していましたが、今回は実生活の中で84シリーズが家具や器とどのような相互作用を起こすか、ご体感いただける展示構成です。

中里氏の展覧会は2007年にも福岡店で開催しており、今回が2回目となります。家具が使い込むほどに住む人の色に染まって完成されていくように、中里氏の器も料理が盛り付けられて完成するという考えのもと作られています。生活の中で「変化させることを愉しむ」ということを、ぜひ本展覧会でご体感ください。

ぜひご高覧賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

■特別展示【Monohanako－中里花子展 灯りと器とダイニングー】

期間：2017年9月7日(木)～9月19日(火)

場所：カッシーナ・イクスシー福岡店

作家在店予定日：9月7日(木),9日(土),10日(日) 14:00-19:00

9月8日(金) 17:00-19:00

中里花子 プロフィール

唐津に育ち16歳で単身渡米、以後半生をアメリカで過ごす。日本の独特な食文化に目覚め、大学卒業後帰郷し、父、中里隆より陶芸を学ぶ。2000年の東京、万葉洞での親子展を皮切りに、以後日本、アメリカ各地で数々の個展を開催。2007年に故郷唐津に独自の工房monohanakoを設立。2010年にメイン州にmonohanakowestを設立。現在、唐津とメインを半年ずつ行き来して作陶している。
